

地域の持続的な賑わいを創る民間事業者の提案募集等について

1. 背景

これまでは、人口増加と経済成長を背景に、国や市のインフラ投資による”地域づくり”が一定の役割をはたしてきた。しかし、現在の少子高齢化、人口減少や、社会の多様化の中では、国・地方とも財政状況は逼迫してきた。その中で、質の高いサービスの維持には、民間の力が不可欠となってきた。

➤ 国、市の考えと呼応し、“やる気のある人”（民間事業者）をともに、賑わいづくりを進めていくパートナーとして、社会実験としての事業者選定をする。

2. 民間事業者の提案募集要件

- ①提案事業の実施をすることで、地域の賑わいづくりに繋がること。
- ②提案事業について継続性があり、事業採算の収益の見通しがたつこと。
- ③提案エリアは、かわまちづくり重点エリアである住吉浦休憩施設周辺から柿安コミュニティーパーク周辺までの河川区域内とする。
- ④河川区域内での仮設建築物の建設等についても検討することができるが、その費用については全て提案事業者の負担とすること。

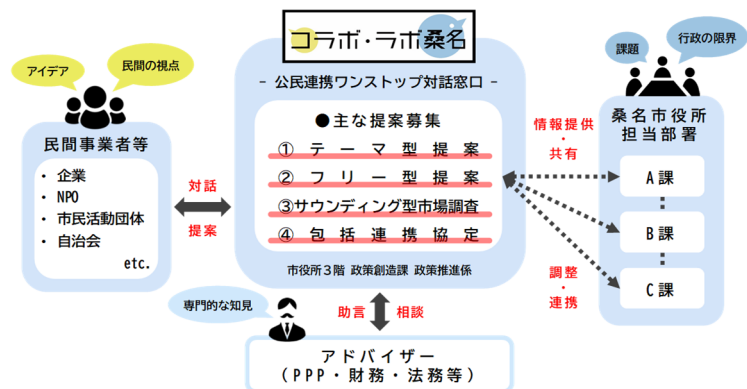
3. 事業者の提案募集と選定手続き方法

コラボ・ラボ桑名（公民連携ワンストップ対話窓口）の活用

「公」と「民」の連携（コラボ）の形を研究する研究所（ラボラトリー）

・コラボ・ラボ桑名とは

本市の社会課題・地域課題の解決を目指し、民間事業者等と行政の対話により連携を進め、お互いの知恵とノウハウを結集して新たな解決方法、新たな価値を創出する公民連携ワンストップ対話窓口です。



・コラボ・ラボ桑名の目指すもの

「民間事業者等と行政をつなぐパイプ役」として、民間事業者等の皆様と行政である桑名市の各部課との調整をし、公民連携による社会的・地域的課題の解決や、桑名市の活性化などを図ることで歳出抑制・歳入確保・市民サービス向上を目指しています。

4. 事業の実施

時代の変化の激しい中で、民間事業者のスピード感に合わせた事業の実施が必要であることから、民間事業者からの提案もとに、分科会（国、市、事業に関係のある委員や団体）で協議をし、事業を実施する。

分科会等の開催内容については、随時、委員に情報共有し、直後の協議会において報告をし、事業の進捗や実施内容についてご意見をいただけるようにする。